

研究制度 評価結果概要一覧

番号	事業名	研究主体	研究期間	総事業費	制度の概要	研究制度実施(概算要求)の適否に関する所見	今後検討を要する事項に関する所見	総括評価
1	みどりの食料システム戦略実現技術開発・実証事業のうち農林水産研究の推進のうちみどりの品種開発研究(新規)	民間団体等	令和5年度 ～ 令和9年度	70億円	複合病虫害抵抗性・高肥料利用効率等の先導的な特性を持ち、減化学農薬・減化学肥料等のみどりの食料システム戦略のKPI達成に資する品種を早急に開発する。また、品種の迅速開発に必要不可欠なスマート育種技術の低コスト化・高精度化、多くの作目への横展開を図ることで、産学官の育種現場で簡単に利用できる育種効率化基盤「育種ハイウェイ」の構築に向けた研究を実施する。	・新品種の開発、育種効率化基盤「育種ハイウェイ」構築に向けた取組は「みどりの食料システム戦略」の実現に向けて非常に重要である。 ・国が先導して、生産現場との連携を密にして早期の普及・実用化を期待する。	・遺伝子ドナーについては、知的財産権の取得を戦略的に行っていただきたい。また、「育種ハイウェイ」構築に向けて高度データサイエンティストの参画が重要である。 ・アウトカム目標設定について、さらに一步踏み込んで、その数値がもたらす社会的・経済的な波及効果について見えるよう充実化を図ることを期待する。 ・食料安全保障の観点から、子実用とうもろこし、牧草も対象とすることや、ナス科の青枯病のような既存の農薬で対処できない病気への対策の検討を期待する。	A
2	みどりの食料システム戦略実現技術開発・実証事業のうち農林水産研究の推進のうち現場ニーズ対応型研究(拡充)	民間団体等	令和5年度 ～ 令和7年度	19.5億円	農林漁業者等のニーズを踏まえ、生産振興部局等と連携し、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立の実現に向けた有機農業拡大や生産現場の強化に資する技術の開発を推進する。	・現場ニーズに対応する本制度の意義は非常に大きい。また、「みどりの食料システム戦略」と連動させた課題設定も妥当である。広範な農林水産業にわたる課題に対し、国が主導的に取り組む必要性は高い。	・鳥獣被害対策等について、これまで得られた知見や既に普及された技術について十分に精査した上で、それらを活用しつつ、さらに必要な技術について研究を進める必要がある。	A
3	みどりの食料システム戦略実現技術開発・実証事業のうち農林水産研究の推進のうち革新的環境研究(拡充)	民間団体等	令和5年度 ～ 令和9年度	15億円	食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立に向け、環境負荷低減、資源の循環利用や地域資源の最大活用、脱炭素等を目指し、環境分野における農林水産業関連技術のイノベーションに結びつく研究開発を推進する。	・将来を見据え、環境分野における関連技術のイノベーションを推進する本制度の重要性は非常に高く、国の関与が重要である。他の制度との役割分担も明確であり、研究制度としての妥当性は高い。	・ESG投資を先導する生態系サービスの経済的価値の指標設定は、民間企業(特に大手食品企業等)にとっては喫緊の課題である。国が先導して指標の策定を行い、グローバルスタンダードにつながるような取組を期待する。 ・本研究課題の推進には、国だけではなく、金融機関等、関係機関との連携も不可欠である。	A

※総括評価は、以下の3段階で評価。

A: 研究制度は重要であり、内容は適切。

B: 研究制度は重要であるが、制度の仕組み等の内容の見直しが必要。

C: 研究制度は不適切又は、内容の抜本的な見直しが必要。

番号	事業名	研究主体	研究期間	総事業費	制度の概要	研究制度実施(概算要求)の適否に関する所見	今後検討を要する事項に関する所見	総括評価
4	安全な農畜水産物安定供給のための包括的レギュラトリーサイエンス研究推進事業(拡充)	民間団体等	令和5年度～令和9年度	16.1億円	安全な農畜水産物を安定的に供給し、食の安全及び消費者の信頼を確保するため、食品安全、動物衛生、植物防疫等の分野の行政施策・措置の検討・判断に利用できる科学的知見を得るための研究を実施する。 令和5年度から、気候変動等を考慮した農産物の安全性向上や安全な代替タンパク質生産、家畜の新興・再興感染症対策に係る研究開発を新たに推進する。	・安全な農畜水産物・食品の安定供給の点から、当研究制度のニーズは非常に高い。	・レギュラトリーサイエンスは国主導で着実に進めるべき研究・制度であり、着実な実施が求められる。	A

※総括評価は、以下の3段階で評価。
A: 研究制度は重要であり、内容は適切。
B: 研究制度は重要であるが、制度の仕組み等の内容の見直しが必要。
C: 研究制度は不適切又は、内容の抜本的な見直しが必要。